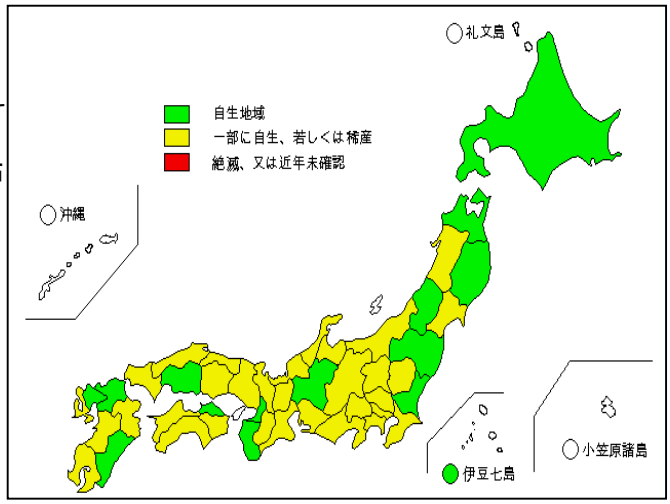
#300

# ミズチドリ（ジャコウチドリ）

Platanthera hologlottis

ミズチドリ（愛知県北部　09.7/11）

全国の明るい湿原に自生する大型の地生蘭です。大型で50～100cmにもなり、中部地方高地（海抜400m級）では6～7月頃に垂直に伸びた花茎に数十輪の純白の花を咲かせます。花に芳香があるため別名ジャコウチドリと呼ばれますが、それほど強い芳香ではありません。草姿はサギソウに似ており、5倍くらい大きくした感じです。冬季は地上部は枯死して越冬します。当地愛知では平地の低層湿原ではほぼ見かけず、山岳部の高層湿原の一部に自生しています。同じような環境を好むサギソウやトキソウなどに比べると自生範囲は極めて限られていると思われます。その為自生地では群生することが多いですが、湿原の枯渇及び植生推移、開発による消失、一箇所での徹底的な盗掘被害などにより簡単に絶滅してしまう恐れがあります。




全国の湿原に自生します。

花のアップ（愛知県北部　09.7/11）

商用生産はされておらず売品としては出回らないため入手は困難です。大型で目立つため盗掘対象になりやすいですが、大型で間延びするので鉢植えでの観賞価値は低く人気がありません。本種のような大型の蘭は特に、自生地での姿こそ見ごたえのある美しい絵になるものですので、栽培は極めておススメできません。栽培自体はサギソウと同様です。株増殖はほとんどせず、現地では実生更新しているようです。　ツレサギソウの仲間は非常に多いので近縁種の紹介は割愛させて頂きます。ツレサギソウ属の中では本種は比較的花が大きく純白なので非常に目立ちます。

Document and photo by LittleFlower 2009

ミズチドリ（愛知県北部　09.7/11）

ミズチドリ（愛知県北部　09.7/11）

ミズチドリの草姿（愛知県北部　09.7/11）

ミズチドリ（愛知県北部　09.7/11）



Document and photo by LittleFlower 2009